

④未来を見つめ ⑤支え合い、磨き合い ⑥共に高まる 美里っ子



学校報

みさと

令和6年12月24日

男鹿市立
美里小学校

文責：校長 櫻庭直美

保護者の皆様、地域の皆様、令和6年には学校のために多くのお力添えをいただき、心より感謝申し上げます。4月からこれまで、「地域と共にある学校」ということを常に意識しながら、日々の教育活動を積み重ねて参りましたが、おかげをもちまして、本校の子どもたちは、「わくわく、にこにこ、のびのび」の合言葉のもと、健康で、友達と笑顔で関わりながら学校生活を送っております。このような子どもたちの成長には、地域での豊かな体験の数々と、接してくださる地域の皆様の温かなまなざしやお声かけの一つ一つが、大変よい影響を与えてくださっているものと感じております。

さて、学校での出来事については、これまでの学校報でもお知らせしてきましたが、取り上げられなかったことがいくつもあります。そこで、それらの出来事のうちいくつかを簡潔に紹介いたします。

☆更に快適な学習環境に

市教育委員会の事業等として、児童用の机と椅子の多くが新調されました。また、夏休みの間に、校内の照明が全てLEDになりました。

☆地域のご協力に感謝

回数では20回以上、のべ50人を超える方々が関わってくださり、体験学習や読み聞かせなど、充実した学びの場をつくっていただきました。

☆安全・安心を守る取組

災害発生時の状況を様々に想定し、避難訓練を行っております。6月には保護者や保育園と協力・連携し子どもの引き渡し訓練も行いました。

☆図書の充実と読書の取組

市予算による購入に加え団体・個人様からの寄贈も重なり、新刊図書が増えました。子どもたちは昼休みの後、「読書タイム」のひとときを過ごしています。

☆広がれ、心のバリアフリー

県立特別支援学校の協力を得て各学年で行った障害理解授業。困り感(バリア)を感じている人の身になって考え行動することの大切さを実感できていました。

☆教員も学んでいます

研修の成果等を、教員も互いに学び合っています。例えば、石井教諭は絵画の指導技術を、大友教諭は児童理解に根ざした支援について伝えてくれました。

1月13日までの冬休みが終わると、子どもたちの進級・進学まで残すところ2か月程となります。6年生は小学校生活の、1～5年生は当該学年の締めくくりをしっかりと行い、次の段階に進むことに対して明るい希望をもつことができるよう、子どもに寄り添った指導を大切にして参りたいと考えます。今後も、学ぶことに楽しさを感じ、友達を思いやって行動できる面が一層伸びていくよう、取り組んで参りますので、ご支援・ご協力を引き続きよろしくお願い申し上げます。

皆様にとりまして、令和7年が幸多い年となりますよう、お祈り申し上げます。

美里小学校の情報をホームページで発信しています。
この学校報も、電子データで配信しています。
御覧いただき、子どもたちの活動を応援していただければ嬉しく思います。



「歯と口の健康教室」

本校の学校歯科医をお務めの、わかみ歯科クリニックの小玉院長先生とスタッフの皆様のご指導のもと、5・6年生を対象に「歯と口の健康教室」を行いました。よくかんで食べることの意味や、歯磨きの大切さなどについて教えていただいた後、子どもたちは歯を薬品で染め出ししてもらい、歯磨きのポイントを踏まえて実際に歯磨き開始。永久歯へ生えかわる時期の子どもたちにとって、一生の健康につながる大切な機会となりました。



「豆腐づくり」の体験授業

学校の畑で育てていた枝豆について、本校の畑の先生の中田〇〇さんから「豆腐が作れるよ」とアドバイスいただき、4年生が挑戦しました。畑の豆の実入りは残念ながら少なすぎたので、大豆は中田さんから分けていただき、豆腐づくりはJA婦人部（本地域からは中田〇〇さん、渡部〇〇さんが参加）の皆様に教えていただきました。大豆が豆腐になる過程に初めて携わる子どもも多く、できたての豆乳や豆腐のおいしさは格別でした。



よりよい授業づくりのために ～4年生で研究授業を行いました～

外部から指導者を招き、授業研究会を行いました。本校教員が全員で研究している教科は算数ですが、今回は「学級活動」（学級会）の授業で研修。授業は、稲村教諭が指導する4年生で行いました。「学級活動」の授業を研修する機会は、国語や算数等の教科指導の研修に比べて多くないのが実情です。そのような中、子どもたちが話し合う議題を必要感をもって選び、司会グループの進行のもと、自分の意見を述べつつ、他の意見とも折り合いをつけながら話し合う姿を参観して研修できたことは有意義な機会になりました。指導者の方からは、4年生の学ぶ姿に対してお褒めの言葉もいただきました。子どもたちが生きるこれからの時代、人間が人工知能よりも得意となるべきことの一つに、他者と心を通わせながら話し合い、互いが、皆がよりよい状況になるような判断をしていくことが挙げられます。今、子どもたちが経験している学級会の話合いが、将来に役立ってくれることを願っています。



☆ 美里っ子の活躍 ☆ 心も体も共に鍛えている成果を發揮！おめでとうございます。



秋田県小学生人権標語コンテスト（11月12日）

優秀賞・AAB秋田朝日放送賞 ○○○○さん(5年)



男鹿潟上南秋学校保健会表彰（11月27日）

健康生活推進顕彰児童 ○○○○さん(6年)、○○○○さん(6年)



第2回若の里杯相撲大会（12月7日）

小学生低学年の部 団体第1位

[メンバー] ○○○○さん(3年)、○○○○さん(3年)、○○○○さん(1年)



第17回大館北秋田柔道スポ少交流大会（12月15日）

5年生50kg以下級 第3位 ○○○○さん(5年)